



**SANSHIN GROUP**  
**Monthly Report on the ESG**  
**Nov.2021**

# INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

# TOP MESSAGE

新型コロナ、オミクロン株が世界を席卷しそうな勢いである。感染力はデルタ株の倍以上と予測されていることから、ワクチン接種者の重症化程度はともかく、社会および医療機関の混乱は必須であろう。11月29日に、岸田総理は一定期間の鎖国令を発したが、マクロ的にみれば、この超原始的な手法以外、伝染病を抑える処方箋はないのである。一方、ミクロ的には、3密回避、マスク着用、手洗うがい、これら基本所作の徹底以外、生き延びる手立てはないのである。おそらく天王山の戦い、みんなで頑張ろう。

サンシングループ代表取締役社長  
博士経営学 石井宏宗

# グループ社員による今月のつぶやき

## SANSHINEast

2021年も残り少なくなりました。今年もコロナは留まることを知らず、欧米では1日の感染者数を更新し、さらには新たな変異種も見られるようになりました。そんな中、日本でもオリンピック・パラリンピックが開催されたように、経済活動へのシフトも進めていかねばなりません。各国がどのようにウィズコロナにかじを切っていくのか、注視していきたいと思えます。(Y.Y.)

## SANSHIN Hong Kong

9月に社宅を更に田舎へ引っ越しましたが、いらない電化製品等はもちろんの事、家具等までもが捨てるのにお金が必要となります。社宅迄に43段の階段があり、今までHK版Amazon等で注文していたものを配達してくれなくなり重たい物の運搬で体力を使う今日この頃です。。(A.A.)

## CSI

セブで良くフルーツを購入します。パイナップル・マンゴー・パパイヤ・バナナ・ドリアン・ジャックフルーツは美味しいのですが、メロン・リンゴ・ナシ・ミカン・スイカ・ブドウはいまいちです。パイナップルの芯が食べられます。以外にも美味しいです。(K.S.)

## SANSHINWest

10/31～11/12にCOP26が開催されています。地球温暖化への対策を強化する目的ですが、電力会社にも温暖化対策として、太陽光発電などの自然エネルギーのみで電源構成をしているところがあります。『ハチドリ電力』というところですが、電気代の1%で寄付できる仕組みがあったりするので、興味のある方は調べてみてください。(Y.S.)

## SHINKOWA

今年も残り1.5ヶ月となりました。今年には台風の影響もなく、ここ千葉県八街名産の落花生が良く育っているようです。落花生収穫後の保管ポットが畑に並んで、秋の景色になっています。工場の敷地で栽培していたサツマイモも、今月初旬に無事収穫ができ、初めてにしては上出来でした。(M.N.)

## SC2

冬到来。感染症を気にして「抗菌」「薬用」をうたう日用品に目が行きます。これらの主成分「トリクロサン」「トリクロカルバン」は発がん性や免疫低下、環境汚染等の弊害がある上殺菌効果は認められず、米国では2016年に使用禁止に。純石鹼は合成石けんの1000倍の殺菌効果があります。これからは純石けんで手洗い、洗濯を。(M.I.)

# ESG Report (品質)

# サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

# 品質への取り組み

## 要因分析

<品質管理の基本である5M>  
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、  
Man (担当者)、Measurement (計測)

## 段取り

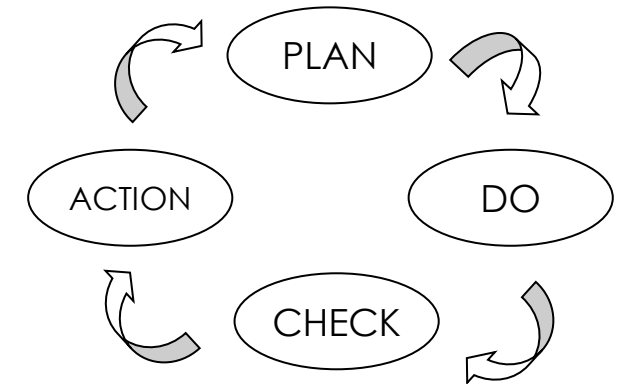
<仕事の段取り5W3H>  
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)  
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

## 行動

<製造の基本である3現主義>  
現場、現実、現物

## 管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



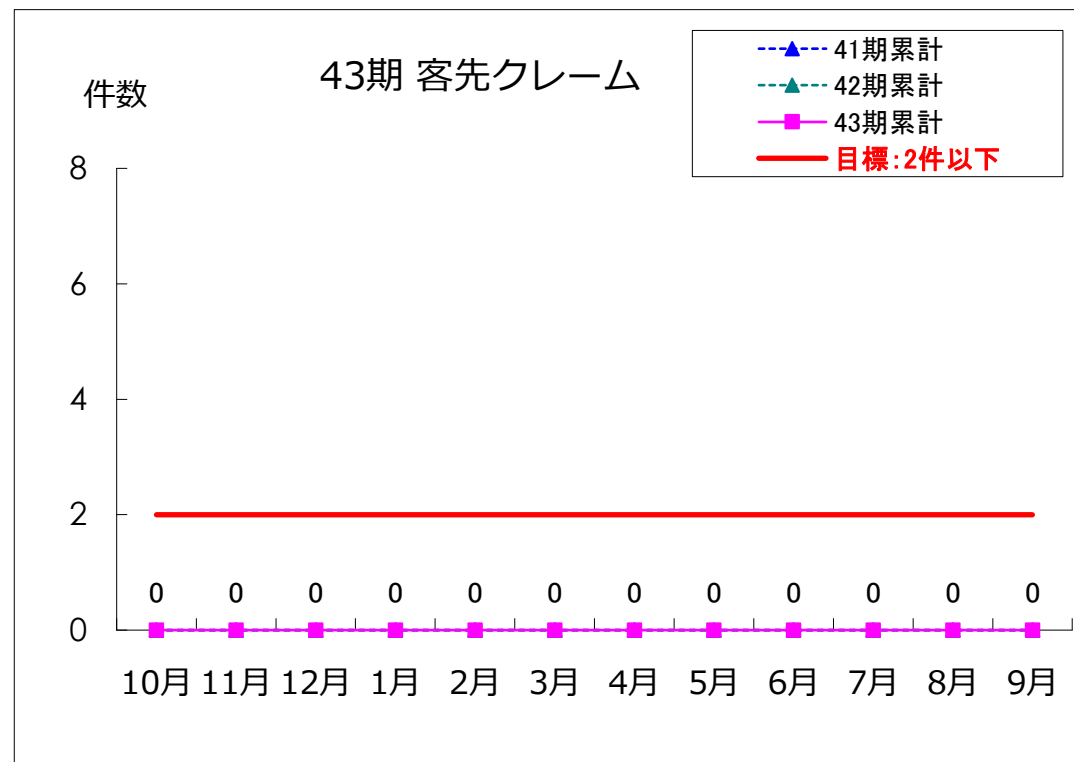
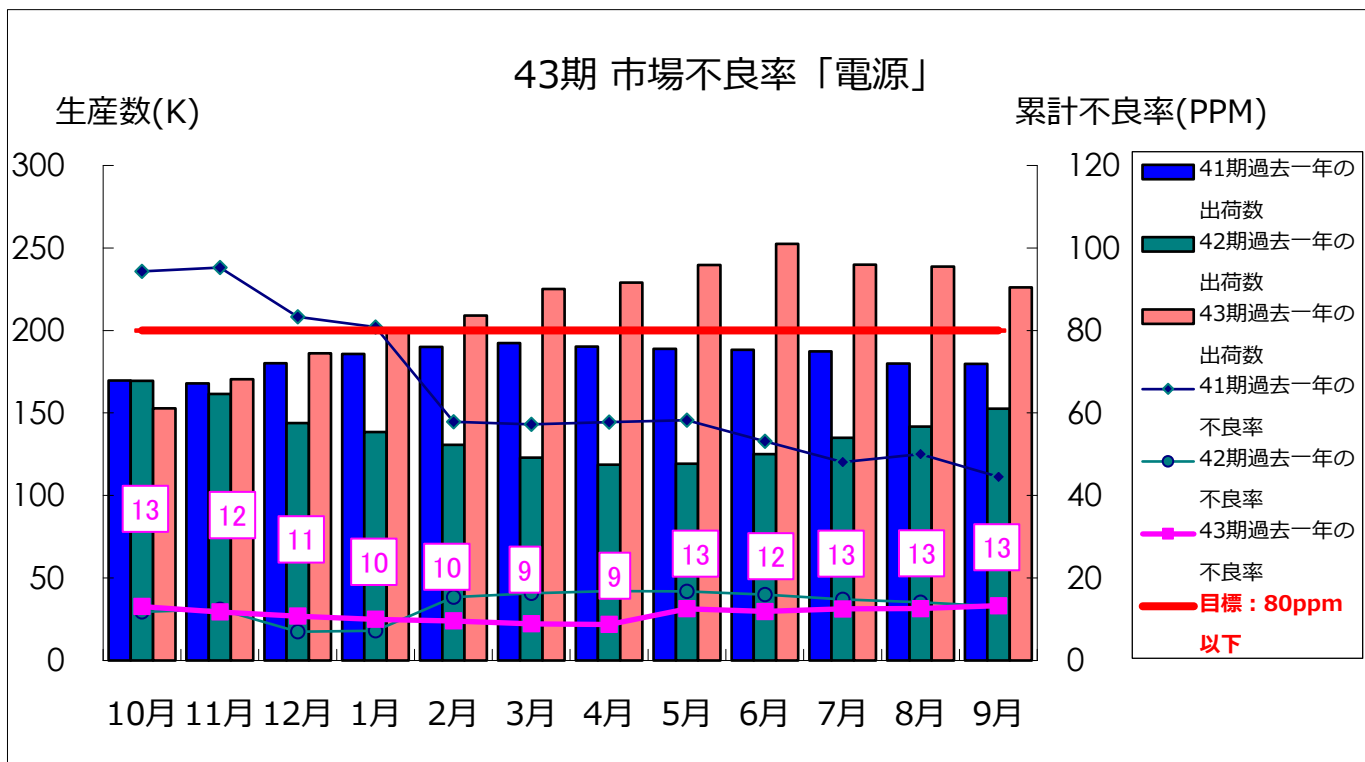
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

\* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

# 品質状況

納入不良率 目標 . . . . . 80ppm

43期の累計不良率は、13ppm です。  
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件





# ESG Report (環境)

# 今月のTOPICS

## □ 「グラスゴー気候合意」採択しCOP26閉幕、石炭の段階的削減へ

英国グラスゴーで10月31日から開催されていた国連気候変動枠組み条約第26回締約国会議（COP26）は11月13日、会期を1日延長して成果文書「グラスゴー気候合意」を採択し閉幕しました。

同合意では、2100年の世界平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5度以内に抑える努力を追求することが盛り込まれました。最大の争点となった石炭火力発電では、合意文書案の「段階的廃止（phase-out）」の表現に対し、インド、中国が反対し、「段階的に削減（phasedown）」と表現を弱めるかたちでの合意となりました。なお、非効率な化石燃料への補助金は「段階的に廃止（phase-out）」と明記されています。

また、同合意では、全ての国は2022年に2030年までの排出目標（国が決定する貢献：NDC）を再検討し、強化することに合意。さらに、パリ協定の実施指針（ルールブック）についても、未決定要素だった同協定6条（市場メカニズム）に関する基本的な基準について合意に達し、これによってパリ協定が完全に運用されることとなりました。同合意は、2020年までに先進国が開発途上国へ年間1,000億ドルを共同で動員するという目標については、達成されていないことに深い遺憾の意を表すとし、先進国は早急にかつ2025年までに達成するよう求めるとしています。

アロック・シャルマCOP26議長は「気温上昇1.5度以内の目標を守ったと自信を持って言える。しかし、私たちが約束を守り、迅速な行動に移さなければならぬ」「ここから先、私たちはともに前進し、『グラスゴー気候合意』で定められた期待を実現し、残された大きなギャップを埋めていかなければならぬ」「気温上昇を1.5度以内にするという目標を維持し、資金を調達して適応を促進するための努力を続けることは、私たち全員にかかっている」として、今後の各国の行動の重要性を強調しました。

ボリス・ジョンソン英首相は同日にコメントとして、「今後数年間、やるべきことはまだ山ほどある。しかし、この合意は大きな前進であり、重要なのは、石炭を段階的に削減するという史上初の国際合意と、地球温暖化を1.5度に抑えるためのロードマップができたことだ。COP26が気候変動の終わりの始まりとして振り返られることを願い、私もその目標に向けて精力的に活動を続ける」と述べました。

2022年のCOP27はエジプト、2023年のCOP28はアラブ首長国連邦（UAE）で開催が予定されています。

# サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



# 活動報告

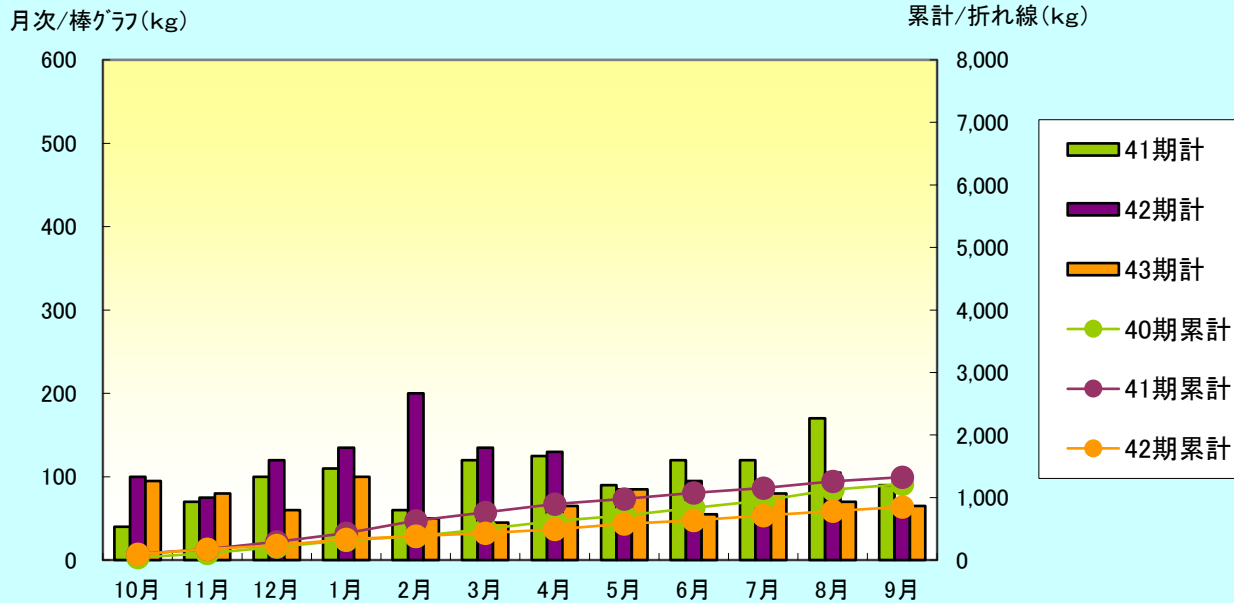
- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

# 環境への取り組み

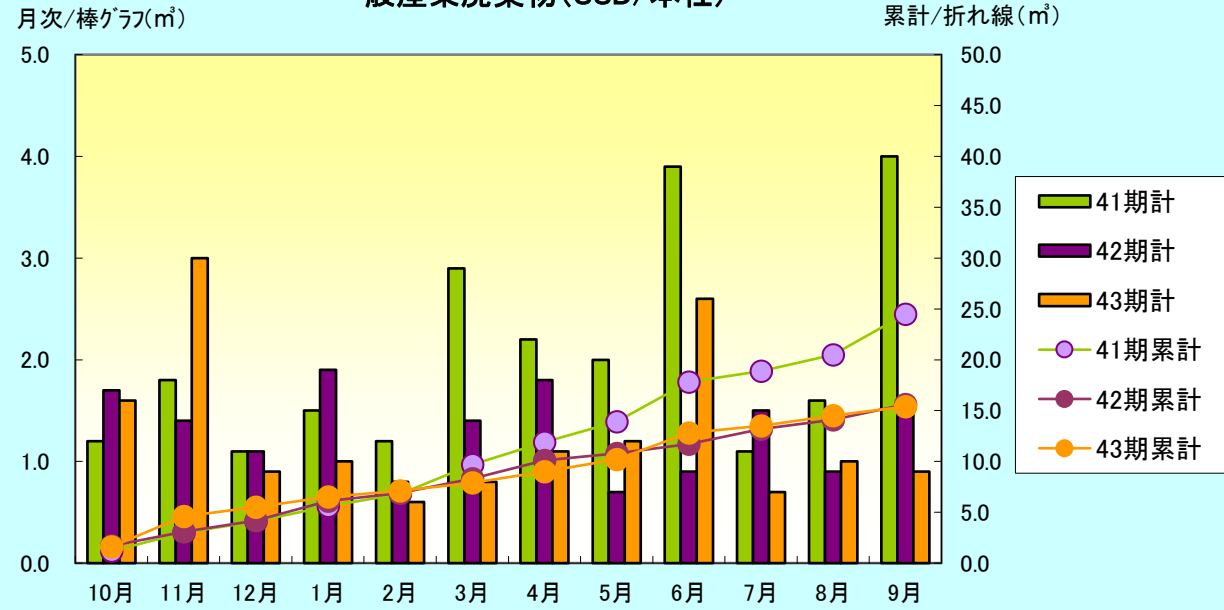
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



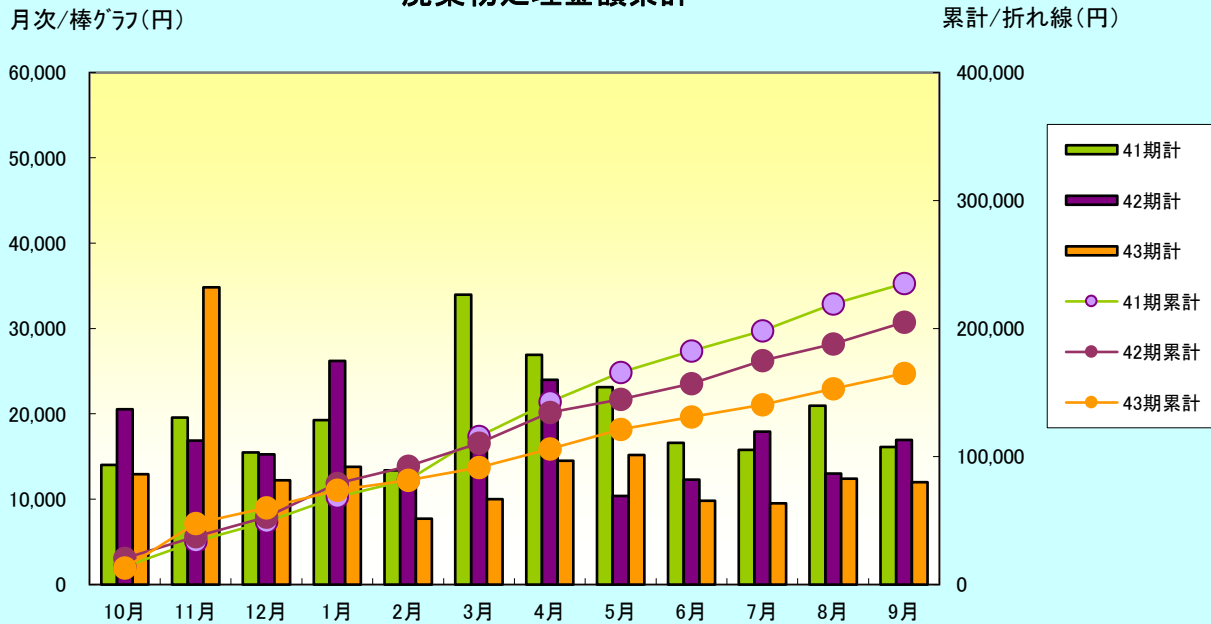
### 一般廃棄物(SSD/本社)



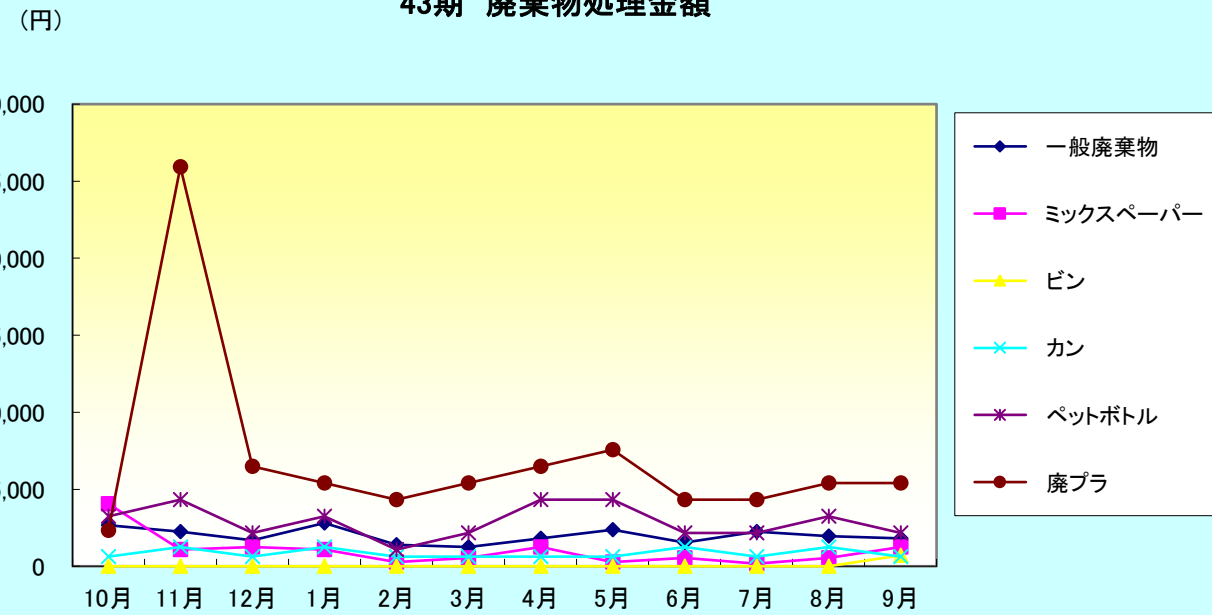
### 一般産業廃棄物(SSD/本社)



### 廃棄物処理金額累計



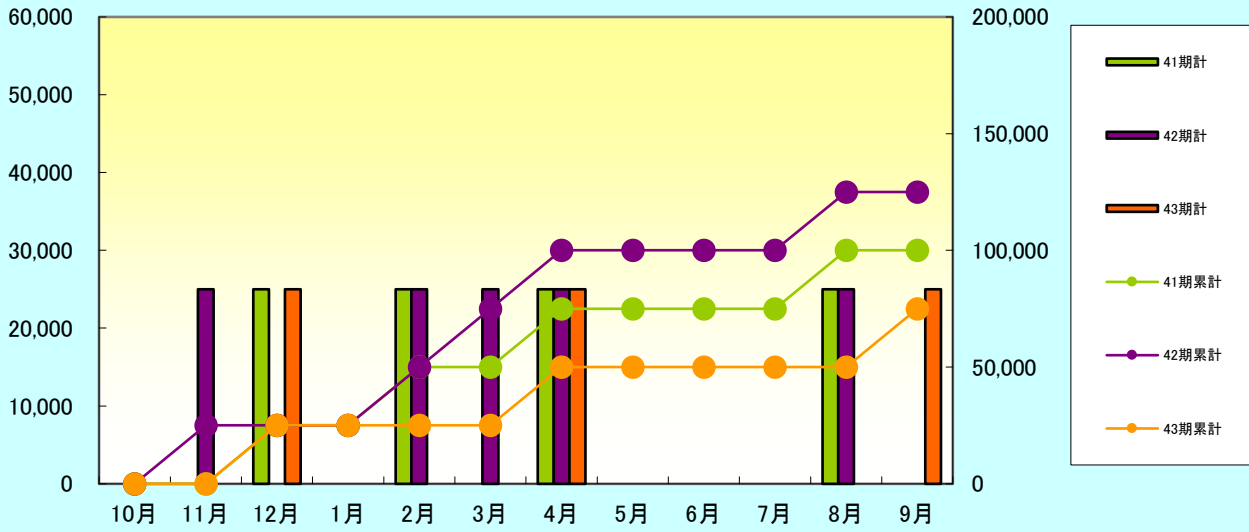
### 43期 廃棄物処理金額



### コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

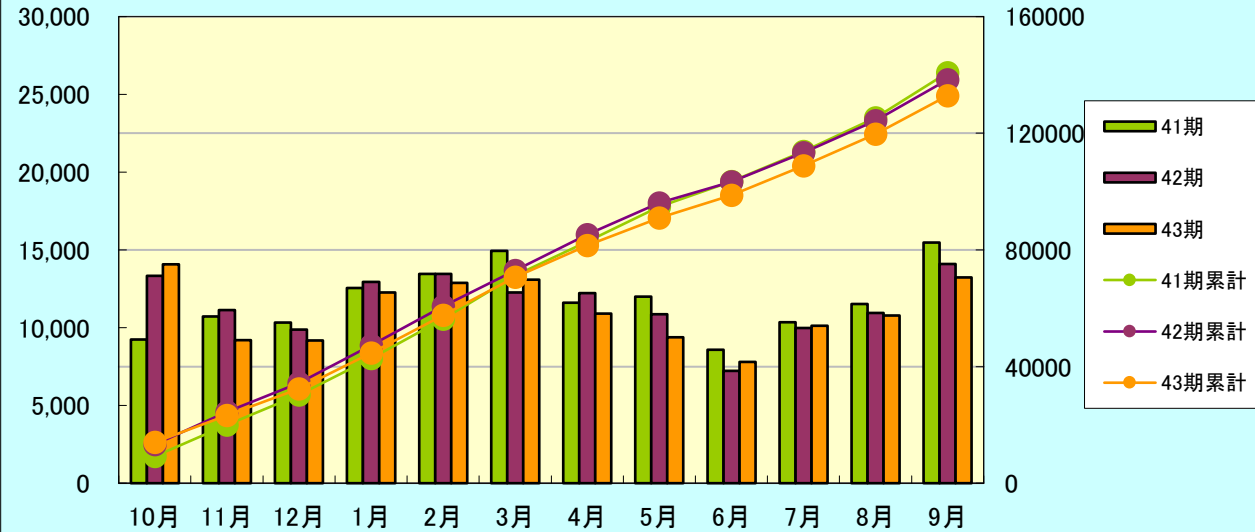
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

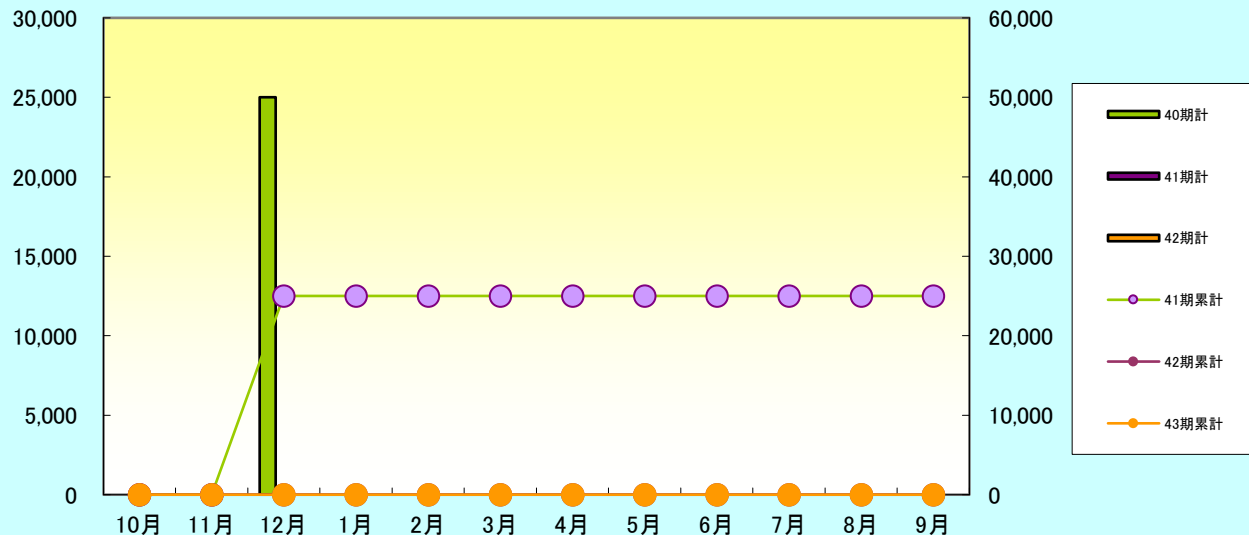
累計/棒折れ線(kwh)



### コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

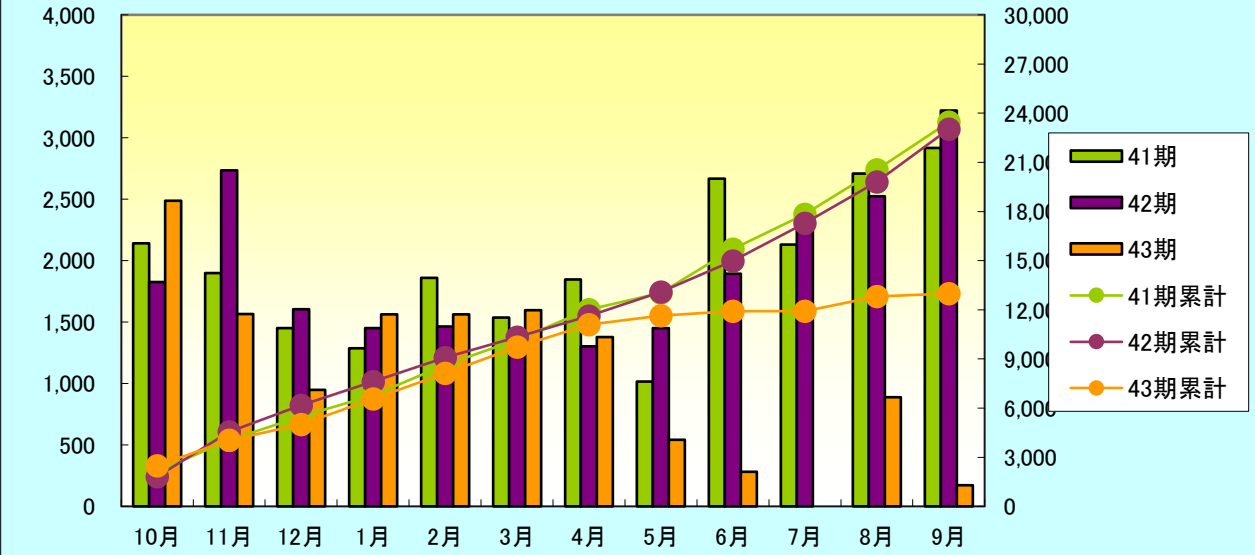
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

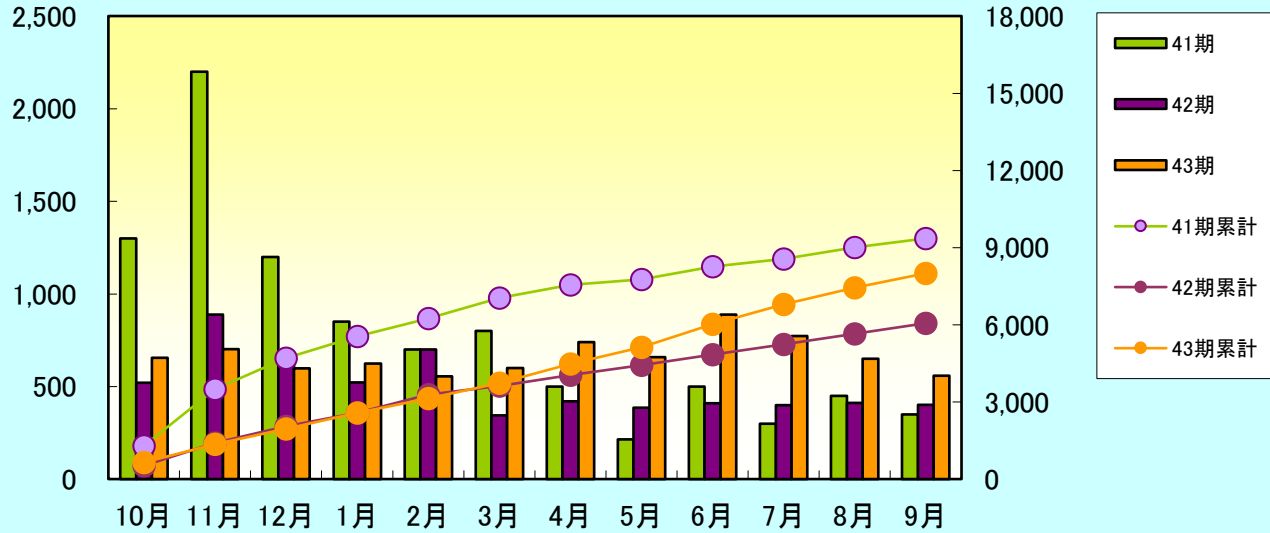
累計/折れ線(kwh)



### ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

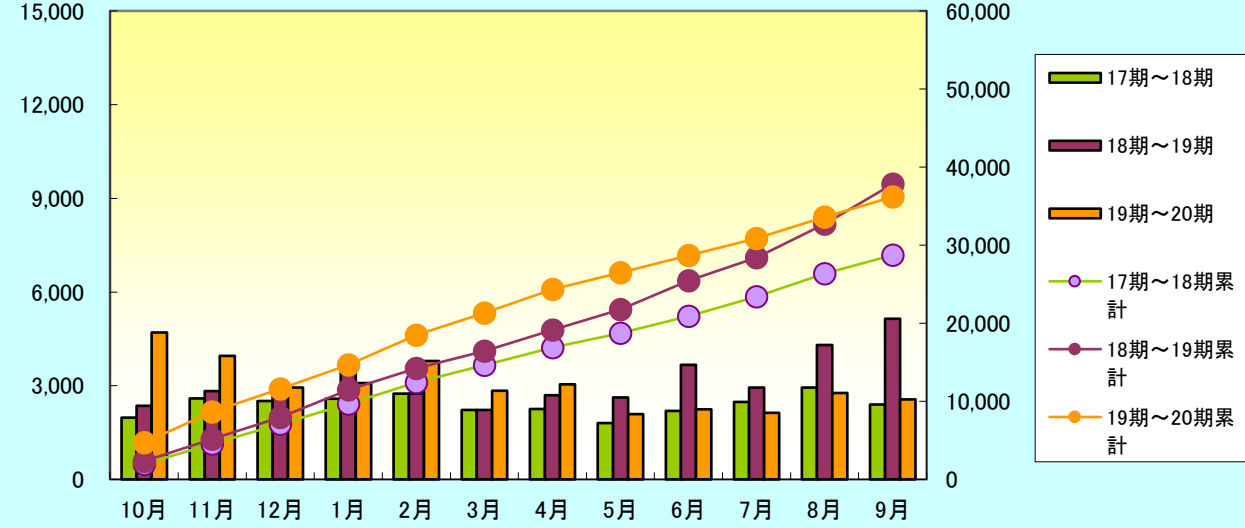
累計/折れ線(個)



### 電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

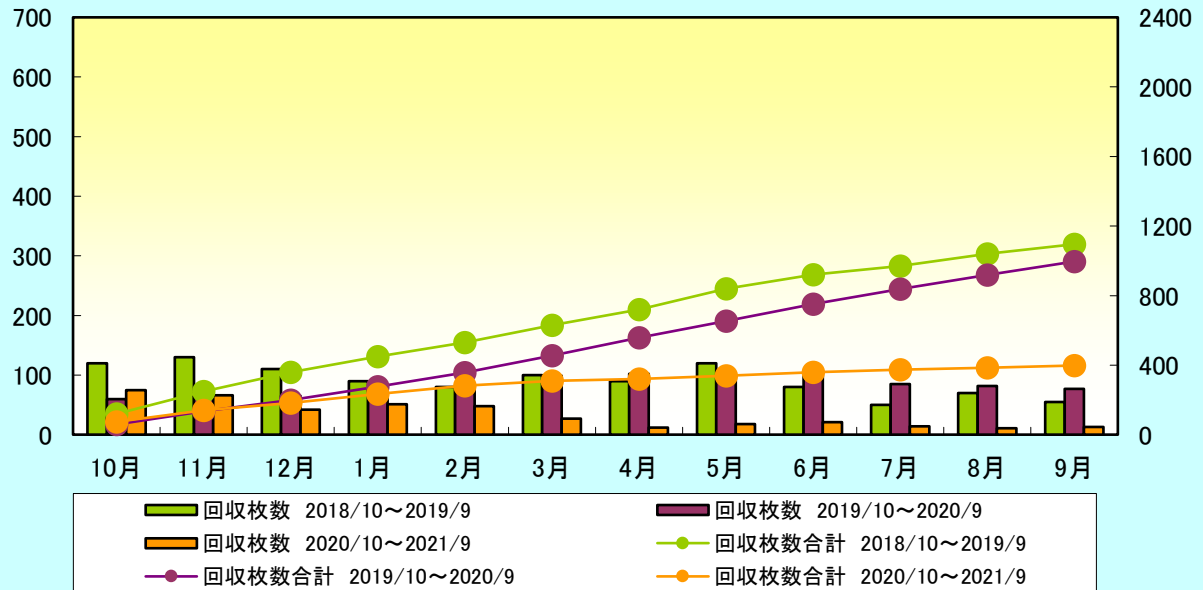
累計/折れ線(kwh)



### 使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

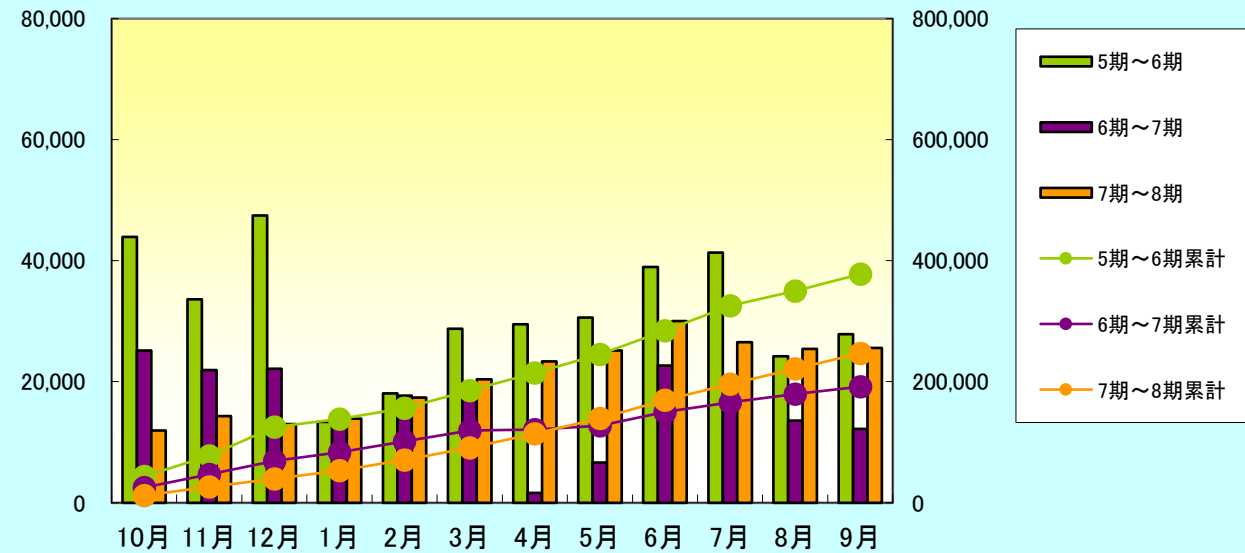
累計/折れ線(枚)



### 電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)





# ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

## 今月のTOPICS

# 『SANSHIN大学～社員の継続的なレベルアップ・人財育成を目指して～』

今月は、ESGレポートで度々ご紹介していますSANSHIN GROUPの社内大学「SANSHIN大学」について、あらためてご紹介致します。

「SANSHIN大学」は、約16年前の2005年1月、SANSHIN GROUPの人材教育機関として設立されました。スピーディーな人材育成と社員の継続的なレベルアップを目的とし、社内外から多様な講師を迎え、国際学術交流・経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の多種多様な講義を展開しています。講義は、日本国内のみならず、WEB会議システムによりWorld-wideに展開するなど、ICTを積極活用した運営を進めています。

「SANSHIN大学」の年度ごとの“講義・受講風景”及び“年度報告”は、下記サイトにてご覧いただけます。<https://www.sanshin-ele.com/SSU.html>



# 活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

# 地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（10月参加人数：延べ3名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）  
※2020年8月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）

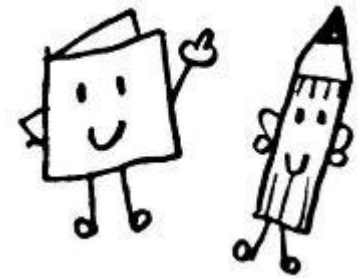


# ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額支給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2021年5月更新）⇒5年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2021年3月）⇒4回目の認定取得！
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

# 人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ 新入社員を対象としたサンシングループ石井代表による「新人勉強会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



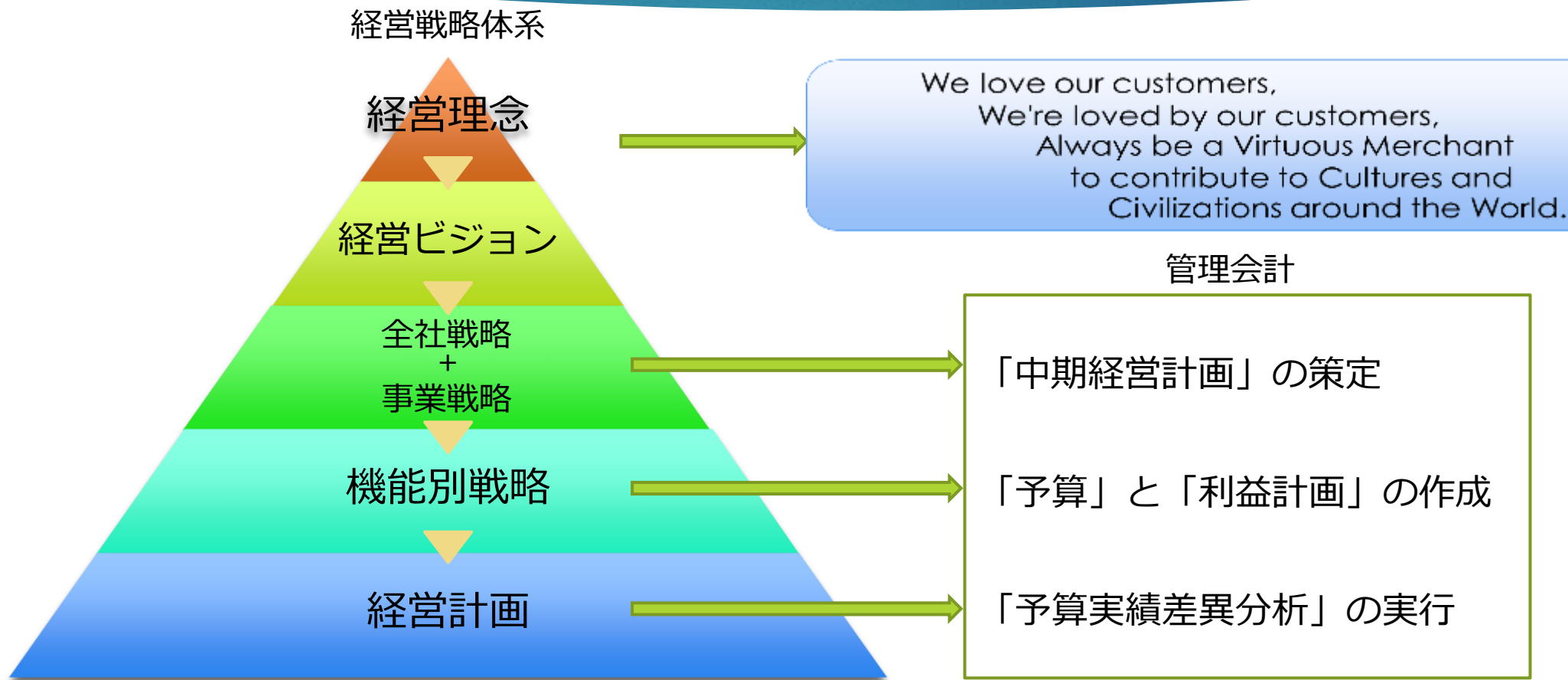
# サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,  
We're loved by our customers,  
Always be a Virtuous Merchant  
to contribute to Cultures and  
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

# 経営戦略体系と管理会計のかかわり





# サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

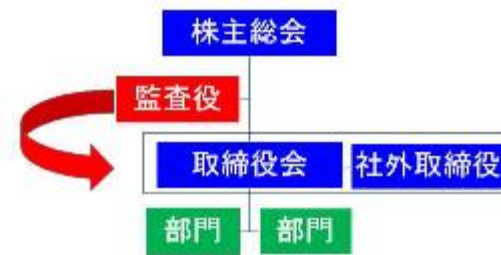
## ■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

## ■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



# サンシングループの企業行動基準

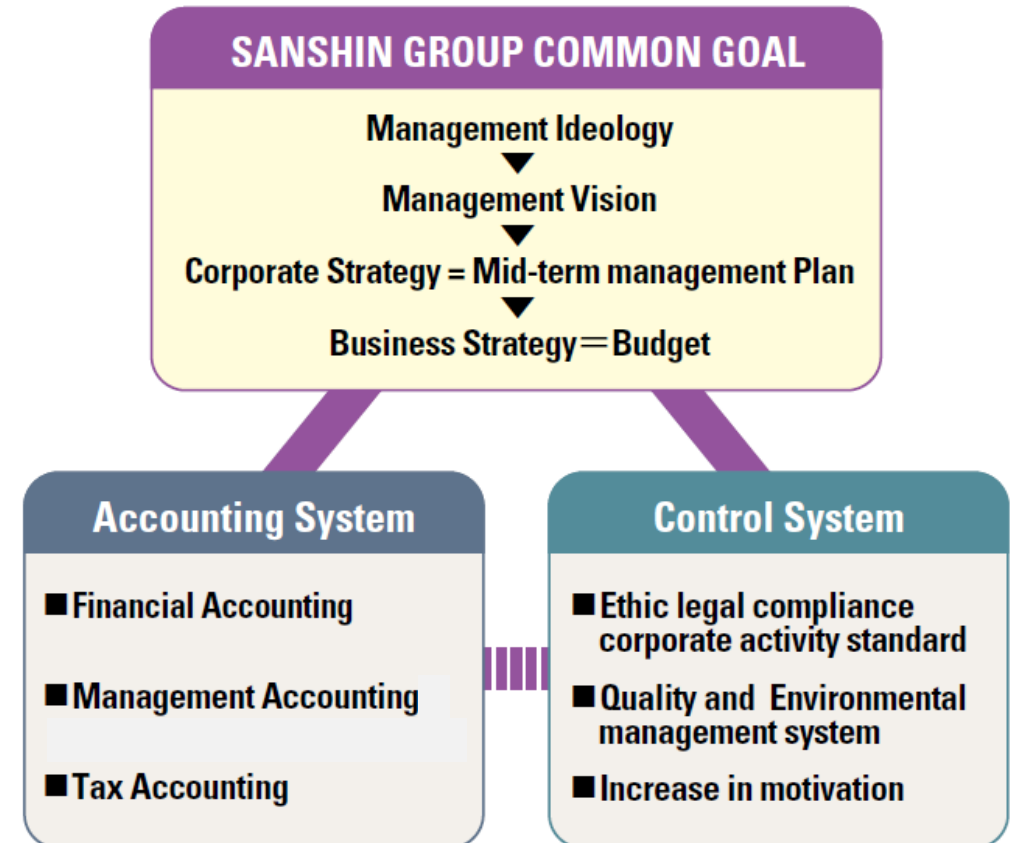
サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



# サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

## ■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

## ■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

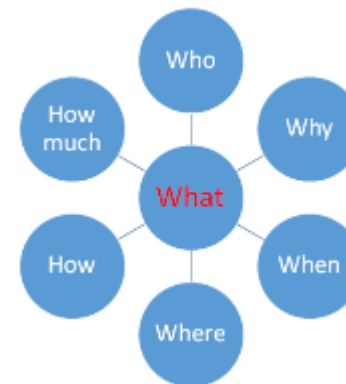
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

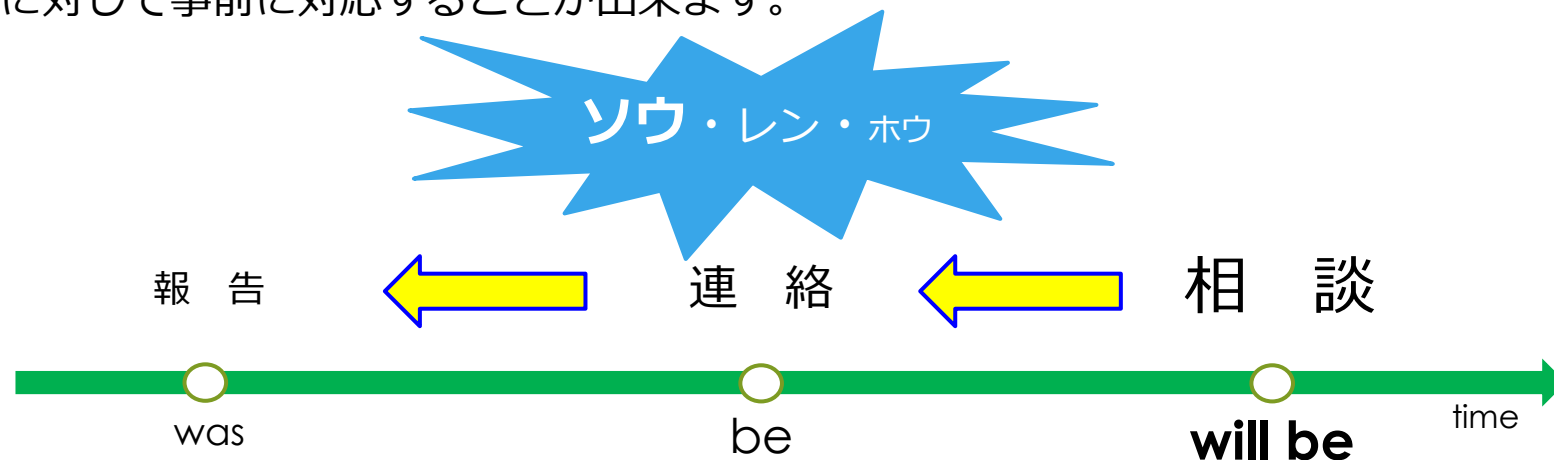


PDCA→P' サイクルの概念



# 未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集  
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

残すところ2021年もあと1ヶ月となりました。皆様の2021年はいかがでしたでしょうか。はたまたこれから今年中に終わらせておきたいことはありますか。気持ちよく2022年を迎える為にも、今年やりたいことは来年に持ち越さないようにしたいものですね。